

金城ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

暑さも和らぎ、季節の移ろいを感じます。皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

9月定例会は、昭和45年(1970年)8月1日に1町4村(名護町、久志村、屋部村、羽地村、屋我地村)が合併し、名護市制50周年の節目の中で開催されました。市議会も第200回目の開催となりました。議会開会前には議場内で記念祝賀会が行われ、議員、職員有志の唄三線で幕が開けられた先人の皆様には心より敬意を表します。

安倍首相の健康上の理由から突然の辞任表明が8月28日にあり、9月16日には自民党の菅義偉新総裁が新首相に選出されました。

自民・公明両党は、新政権

発足に当たり安定した政権運営で、国民のための政策をさらに前へ進めることを確認しました。
新型コロナウイルス感染防止と社会・経済活動の両立、経済回復の実現を最優先に、皆でこの困難を乗り越えていきましょう。

議会報告



金城善英 HP

第200回名護市定例会(9月定例会)は、令和2年9月3日から9月23日までの会期で行われました。名護市一般会計補正予算(第6号)含む市長提出議案13件、報告2件、決算認定7件は、3常任委員会へ付託されました。また、追加議案として、議員提出意見書案3件、決議案2件が審議されました。さらに陳情2件が各委員会へ付託されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第128号(12月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

9月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、教育行政について

質問(1) 中高一貫進学校の早期設置について、これまで何度も取り上げてまいりましたが、その後の進捗状況と今後のスケジュールについて

答弁 県教育委員会は非常に前向きに検討を進めているようです。一年でも早く実現できるように後押ししていきたい

質問(2) ICT環境の整備で、一般家庭における超高速大容量通信環境整備支援と格差を生じさせないための小・中学校に通う児童生徒のいる世帯への通信費を支援することについて

答弁 現在、国や県の財政措置はないが、準要保護世帯や経済的に厳しい世帯には可搬型通信機の支援を行う。一般家庭については、国や県、通信事業者の動向を見ながら検討していく

二、農林水産行政について

名護市拠点産地認定品目の1つであるシークワサーの立ち枯れ被害が本島北部で広がっているとして、玉城沖縄県知事は対策チームを設置すると発表しました。そこで、

質問(1) 本市のシークワサー立ち枯れの被害状況と対応、今後の対策について

答弁 8月24日に県関係者及び、JAが開催した会議の中で、JAや勝山シークワサーを含む大手の加工団体に対し、立ち枯れ症状のアンケートを実施することを決定。その後対応する質問(2) 本市における直近5年間の出荷量と今年の見込み出荷量について(資料の提供)

答弁 昨年(577トン)より増産となり880トンを見込んでいます

三、スポーツ振興について

質問(1) パソコンやスマートフォン等で公共施設やスポーツ施設の予約や決済ができるシステム導入について

答弁 公共施設やスポーツ施設共通の予約システムの導入を検討する

質問(2) パークゴルフ場の整備について

答弁 田井等公園への計画があるが、今後、総合的に検討していく必要がある (裏面へ)

四、道路行政について

質問(1) 大北区内の名護城北側へ続く道路の進捗状況について

答弁 事業費ベースで約85%の進捗

質問(2) 白銀橋(西)交差点のスーパーホテル側歩道の安全対策について

答弁 県と調整しながら歩車道境界ブロックの撤去などを行い、歩道利用者の安全な誘導ができるよう対策していきたい

質問(3) 白銀橋(西)交差点付近の交通が安全でスムーズになるよう改良が必要ではないか

答弁 アンケートの結果を受け交通量調査や渋滞の状況等を検証し、安全対策を実施していく

五、防災・減災について

質問(1) 去る8月24日、台風8号による影響で名護市内でも大雨洪水警報が発表され、市内各地で道路冠水や家屋浸水等がありました。そこで、被害状況と原因、対応について

答弁 被害は、床下浸水2件、道路冠水12件による車両被害が2件で人的被害なし。原因は、豪雨により短時間で大量の雨が降り、排水の処理能力を超える水量が流れ込んだこと。また、周囲よりも一段低い場所であることが考えられる。対応については、被害のあった方々への罹災証明の案内を行い、申告があった場合、住家の現地の調査を行い罹災証明の発行の手続きを行っている

質問(2) 喜知留川の渡名喜橋までの早期河川整備と渡名喜橋から羽地小学校裏側の道路改修について

答弁 河川整備は沖縄県が整備を実施する。道路改修は名護市が今年度に補修計画を行い令和3年度より補修を実施する

質問(3) 渡名喜橋の架け替え計画について

答弁 令和4年度から工事を予定している

質問(4) 伊差川区内家屋浸水被害常襲地域における住宅建築の補助ができないか

答弁 市として補助は行っていないが、当該地域の冠水や浸水を防止するため、県と連携を取り、早期の河川拡幅整備に取り組む

質問(5) 屋我地地域の特に古宇利大橋向け電線の地中化について

答弁 県北部土木事務所を確認したところ、現時点では当該路線の電柱の地中化の計画はない

六、医療・福祉行政について

質問(1) 去る7月28日に北部基幹病院の基本的枠組みに関する基本合意書の締結がありました。今後の取組みは加速度的に進める必要があると考えますが、市長の見解をお伺いします。

答弁 スケジュールどおり令和8年度に開院できるような、本市としても協議会や幹事会の場において、積極的に関わっていく

質問(2) コロナ禍で迎える今冬の本市のインフルエンザワクチン接種支援について

答弁 今年度はさらに接種率を高めていきたい

質問(3) 新型コロナウイルス感染症に係る介護や障がい福祉サービス事業所・施設等への支援事業や従事者への慰労金の支給事業について

答弁 都道府県を実施主体とする事業で6月30日までの間に延べ10日以上、施設・事業所に勤務したものに最大20万円支給される

質問(4) 前回6月定例会でも取り上げましたが、名護市独自の新型コロナウイルス感染リスクの高い現場で働く方々への支援について

答弁 整理すべき課題が多く困難と考えている

七、北部振興について

質問(1) 去る8月21日、北部広域市町村圏事務組合と北部市町村会、北部振興会の3団体が内閣

府で衛藤晟一沖繩担当相に2021年度の北部振興事業予算の継続・満額確保を要請したと新聞報道でありましたが、要請までの経緯、要請内容、成果についてお伺いします。(資料の提供)

答弁 引き続き、北部地域の振興についての取り組みが必要であることから今回の要請になった

質問(2) 名護市と今帰仁村にまたがるオリオン嵐山ゴルフ倶楽部にテーマパークの建設が計画されており、本市のみならず北部地域の活性化や沖繩県の観光の発展に大いに資するものと期待されます。建設団体からの協力要請や要望はあるのか、また、どのような協力ができるのかお伺いします。

答弁 株式会社ジャパンエンターテイメントによる亜熱帯、沖繩の魅力ある自然環境をコンセプトとして2024〜25年の開業を目指している計画。関係町村である今帰仁村、本部町とも足並みをそろえ協議を進めて行く考えである。協力要請や要望については現段階ではまだない



市制50周年目の名護市議会第200回定例会で一般質問に臨む

2020・9・11

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか?
日刊(1ヶ月1,887円/税込)
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259